

授業計画(シラバス)

科目名		建築計画		指導担当者名	鈴木 杏奈			
実務経験		建築施工管理職として4年間従事				実務経験:	有	
開講時期		前期		対象学科学年		1級建築士専攻科1年		
授業方法		講義: ○		演習:		実習:		実技:
時間数		60時間				週時間数	5時間	
学習到達目標		二級建築士学科試験【建築計画】において、25点中20点以上の取得を目指す。						
評価方法 評価基準		半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。						
使用教材		2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題						
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと						
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等				
授 業 計 画 前 期	1	学科Ⅰ 建築計画		気候・空気/熱				
	2	学科Ⅰ 建築計画		光/音				
	3	学科Ⅰ 建築計画		色彩/計画原論・用語・単位				
	4	学科Ⅰ 建築計画		住宅建築/商業建築				
	5	学科Ⅰ 建築計画		公共/各部計画				
	6	学科Ⅰ 建築計画		建築生産/都市計画				
	7	学科Ⅰ 建築計画		空気調和設備/給排水衛生設備				
	8	学科Ⅰ 建築計画		電気・照明/消火・消防設備・省エネ				
	9	学科Ⅰ 建築計画		厳選問題Ⅰ				
	10	学科Ⅰ 建築計画		厳選問題Ⅱ				
	11	学科Ⅰ 建築計画		厳選問題Ⅲ				
	12	学科Ⅰ 建築計画		厳選問題Ⅳ				
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施								

授業計画(シラバス)

科目名		建築法規		指導担当者名	鈴木 杏奈		
実務経験		建築施工管理職として4年間従事				実務経験:	有
開講時期		前期		対象学科学年		1級建築士専攻科1年	
授業方法		講義: ○		演習:		実習:	
実技:							
時間数		60時間				週時間数	5時間
学習到達目標		二級建築士学科試験【建築法規】において、25点中20点以上の取得を目指す。					
評価方法 評価基準		半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。					
使用教材		2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	学科Ⅱ 建築法規		用語の定義/確認申請・建築手続			
	2	学科Ⅱ 建築法規		面積・高さ等の算定/一般構造			
	3	学科Ⅱ 建築法規		耐火・防火/防火地域・準防火地域・防火区画			
	4	学科Ⅱ 建築法規		避難施設・内装制限/構造計算・構造強度			
	5	学科Ⅱ 建築法規		敷地等と道路・用途地域/建蔽率・容積率・高さ制限			
	6	学科Ⅱ 建築法規		日影規制・雑則・その他/建築士法			
	7	学科Ⅱ 建築法規		高齢者、障害者等の移動等の円滑化			
	8	学科Ⅱ 建築法規		耐震改修の促進・住宅の品質確保			
	9	学科Ⅱ 建築法規		厳選問題Ⅰ			
	10	学科Ⅱ 建築法規		厳選問題Ⅱ			
	11	学科Ⅱ 建築法規		厳選問題Ⅲ			
	12	学科Ⅱ 建築法規		厳選問題Ⅳ			
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施							

授業計画(シラバス)

科目名	建築構造		指導担当者名	鈴木 杏奈	
実務経験	建築施工管理職として4年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級建築士専攻科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	60時間			週時間数	5時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築構造】において、25点中20点以上の取得を目指す。				
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。				
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	学科Ⅲ 建築構造	力のつり合い/反力		
	2	学科Ⅲ 建築構造	応力/トラス		
	3	学科Ⅲ 建築構造	断面の性質/座屈		
	4	学科Ⅲ 建築構造	応力度/荷重・外力		
	5	学科Ⅲ 建築構造	地盤・基礎/木造		
	6	学科Ⅲ 建築構造	鉄筋コンクリート/壁構造		
	7	学科Ⅲ 建築構造	鉄骨造		
	8	学科Ⅲ 建築構造	構造計画		
	9	学科Ⅲ 建築構造	厳選問題Ⅰ		
	10	学科Ⅲ 建築構造	厳選問題Ⅱ		
	11	学科Ⅲ 建築構造	厳選問題Ⅲ		
	12	学科Ⅲ 建築構造	厳選問題Ⅳ		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名	建築施工		指導担当者名	鈴木 杏奈	
実務経験	建築施工管理職として4年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級建築士専攻科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	60時間			週時間数	5時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築施工】において、25点中20点以上の取得を目指す。				
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。				
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	学科Ⅳ 建築施工	契約/施工計画		
	2	学科Ⅳ 建築施工	管理計画/仮設工事		
	3	学科Ⅳ 建築施工	地盤・土工事・基礎/鉄筋工事		
	4	学科Ⅳ 建築施工	型枠工事/コンクリート工事		
	5	学科Ⅳ 建築施工	鉄骨工事/コンクリートブロック		
	6	学科Ⅳ 建築施工	木工事/防水工事・左官工事・タイル工事		
	7	学科Ⅳ 建築施工	塗装工事・建具・ガラス工事		
	8	学科Ⅳ 建築施工	内装工事・改修工事		
	9	学科Ⅳ 建築施工	厳選問題Ⅰ		
	10	学科Ⅳ 建築施工	厳選問題Ⅱ		
	11	学科Ⅳ 建築施工	厳選問題Ⅲ		
	12	学科Ⅳ 建築施工	厳選問題Ⅳ		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施

授業計画(シラバス)

科目名		設計製図演習		指導担当者名	鈴木 杏奈		
実務経験		建築施工管理職として4年間従事				実務経験:	有
開講時期		前期		対象学科学年		1級建築士専攻科1年	
授業方法		講義:	演習: ○		実習:		実技:
時間数		200時間				週時間数	20時間
学習到達目標		二級建築士学科試験【設計製図試験】の課題を5時間で完成し、合格できる図面を仕上げる。					
評価方法 評価基準		半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。					
使用教材		2級建築士試験 設計製図試験					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	設計製図		製図の描き方			
	2	設計製図		エスキース			
	3	設計製図		エスキース			
	4	設計製図		計画の要点			
	5	設計製図		作図			
	6	設計製図		作図			
	7	設計製図		模試試験			
	8	設計製図		模試試験			
	9	設計製図		模試試験			
	10	設計製図		模試試験			
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施							

授業計画(シラバス)

科目名	一級環境設備Ⅰ		指導担当者名	鈴木 杏奈	
実務経験	建築施工管理職として4年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級建築士専攻科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	72時間			週時間数	4時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【環境設備】の基本から応用を身に付ける				
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。				
使用教材	一級建築士テキスト				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	学科Ⅱ【環境・設備】	日照・日射		
	2	学科Ⅱ【環境・設備】	採光・照明		
	3	学科Ⅱ【環境・設備】	色彩		
	4	学科Ⅱ【環境・設備】	室内気候と気象		
	5	学科Ⅱ【環境・設備】	換気		
	6	学科Ⅱ【環境・設備】	熱・結露		
	7	学科Ⅱ【環境・設備】	音響		
	8	学科Ⅱ【環境・設備】	空気調和設備		
	9	学科Ⅱ【環境・設備】	省エネルギー・保全・管理		
	10	学科Ⅱ【環境・設備】	給排水・衛生設備		
	11	学科Ⅱ【環境・設備】	電気設備		
	12	学科Ⅱ【環境・設備】	消防・防災設備		
	13	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題		
	14	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題		
	15	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題		
	16	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題		
	17	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題		
	18	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名		一級建築計画 I		指導担当者名		鈴木 杏奈		
実務経験		建築施工管理職として4年間従事					実務経験:	有
開講時期		後期		対象学科学年		1級建築士専攻科1年		
授業方法		講義: ○		演習:		実習:		実技:
時間数		72時間					週時間数	4時間
学習到達目標		一級建築士学科試験【建築計画】の基本から応用を身に付ける						
評価方法 評価基準		半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。						
使用教材		一級建築士テキスト						
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと						
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	学科 I【計画】			都市計画			
	2	学科 I【計画】			居住施設			
	3	学科 I【計画】			学校教育施設			
	4	学科 I【計画】			社会教育施設			
	5	学科 I【計画】			医療施設			
	6	学科 I【計画】			高齢者施設			
	7	学科 I【計画】			商業施設			
	8	学科 I【計画】			細部計画			
	9	学科 I【計画】			防災・避難			
	10	学科 I【計画】			建築積算			
	11	学科 I【計画】			マネジメント			
	12	学科 I【計画】			重要ポイント・厳選問題			
	13	学科 I【計画】			重要ポイント・厳選問題			
	14	学科 I【計画】			重要ポイント・厳選問題			
	15	学科 I【計画】			重要ポイント・厳選問題			
	16	学科 I【計画】			重要ポイント・厳選問題			
	17	学科 I【計画】			重要ポイント・厳選問題			
	18	学科 I【計画】			重要ポイント・厳選問題			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施								

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築構造Ⅰ		指導担当者名	鈴木 杏奈	
実務経験	建築施工管理職として4年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級建築士専攻科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	72時間			週時間数	4時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築構造】の基本から応用を身に付ける				
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。				
使用教材	一級建築士テキスト				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	学科Ⅳ【構造】	力と釣り合い		
	2	学科Ⅳ【構造】	静定構造物		
	3	学科Ⅳ【構造】	断面の性質と応力度		
	4	学科Ⅳ【構造】	部材jの変形		
	5	学科Ⅳ【構造】	不静定構造物		
	6	学科Ⅳ【構造】	座屈		
	7	学科Ⅳ【構造】	振動		
	8	学科Ⅳ【構造】	骨組みの塑性解析		
	9	学科Ⅳ【構造】	構造設計の基礎		
	10	学科Ⅳ【構造】	構造計画		
	11	学科Ⅳ【構造】	鉄骨構造		
	12	学科Ⅳ【構造】	鉄筋コンクリート構造		
	13	学科Ⅳ【構造】	鉄骨鉄筋コンクリート構造		
	14	学科Ⅳ【構造】	壁構造		
	15	学科Ⅳ【構造】	木構造		
	16	学科Ⅳ【構造】	その他の構造等		
	17	学科Ⅳ【構造】	建築材料		
	18	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築施工Ⅰ		指導担当者名	鈴木 杏奈	
実務経験	建築施工管理職として4年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級建築士専攻科1年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	72時間			週時間数	4時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築施工】の基本から応用を身に付ける				
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。				
使用教材	一級建築士テキスト				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	学科Ⅴ【施工】	施工計画		
	2	学科Ⅴ【施工】	現場管理・材料管理		
	3	学科Ⅴ【施工】	申請・届出		
	4	学科Ⅴ【施工】	地盤調査		
	5	学科Ⅴ【施工】	仮設工事		
	6	学科Ⅴ【施工】	土工事		
	7	学科Ⅴ【施工】	基礎工事		
	8	学科Ⅴ【施工】	鉄筋工事		
	9	学科Ⅴ【施工】	型枠工事		
	10	学科Ⅴ【施工】	コンクリート工事		
	11	学科Ⅴ【施工】	鉄骨工事		
	12	学科Ⅴ【施工】	PC工事・メーソンリー工事		
	13	学科Ⅴ【施工】	防水工事		
	14	学科Ⅴ【施工】	張り石工事・タイル工事		
	15	学科Ⅴ【施工】	木工事・左官工事		
	16	学科Ⅴ【施工】	カーテンウォール工事・タイル工事		
	17	学科Ⅴ【施工】	内装工事・塗装工事		
	18	学科Ⅴ【施工】	改修工事		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名		一級建築法規Ⅰ		指導担当者名	鈴木 杏奈		
実務経験		建築施工管理職として4年間従事				実務経験:	有
開講時期		後期		対象学科学年		1級建築士専攻科1年	
授業方法		講義: ○		演習:		実習:	
実技:							
時間数		72時間				週時間数	4時間
学習到達目標		一級建築士学科試験【建築法規】の基本から応用を身に付ける					
評価方法 評価基準		半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。					
使用教材		一級建築士テキスト					
授業外学習 の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 後 期	1	学科Ⅲ【法規】		用語の定義			
	2	学科Ⅲ【法規】		面積・高さ等の算定方法			
	3	学科Ⅲ【法規】		制度規定			
	4	学科Ⅲ【法規】		一般構造			
	5	学科Ⅲ【法規】		耐火・防火			
	6	学科Ⅲ【法規】		避難施設等			
	7	学科Ⅲ【法規】		内装制限			
	8	学科Ⅲ【法規】		建築設備			
	9	学科Ⅲ【法規】		構造強度			
	10	学科Ⅲ【法規】		道路			
	11	学科Ⅲ【法規】		用途地域			
	12	学科Ⅲ【法規】		容積率・建蔽率			
	13	学科Ⅲ【法規】		高さ制限			
	14	学科Ⅲ【法規】		防火・準防火地域			
	15	学科Ⅲ【法規】		地区計画・建築協定			
	16	学科Ⅲ【法規】		その他の法規			
	17	学科Ⅲ【法規】		重要ポイント・厳選問題			
	18	学科Ⅲ【法規】		重要ポイント・厳選問題			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施							

授業計画(シラバス)

科目名	一級環境設備Ⅱ		指導担当者名	鈴木 杏奈	
実務経験	建築施工管理職として4年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級建築士専攻科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	60時間			週時間数	4時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【環境設備】の実践力を身に付け合格点を目指す				
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。				
使用教材	一級建築士テキスト				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	2	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	3	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	4	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	5	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	6	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	7	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	8	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	9	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	10	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	11	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	12	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	13	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	14	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	15	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	16				
	17				
	18				

履修上の留意点
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築計画Ⅱ		指導担当者名	鈴木 杏奈	
実務経験	建築施工管理職として4年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級建築士専攻科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	60時間			週時間数	4時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築計画】の実践力を身に付け合格点を目指す				
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。				
使用教材	一級建築士テキスト				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	2	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	3	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	4	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	5	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	6	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	7	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	8	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	9	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	10	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	11	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	12	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	13	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	14	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	15	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築構造Ⅱ		指導担当者名	鈴木 杏奈	
実務経験	建築施工管理職として4年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級建築士専攻科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	60時間			週時間数	4時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築構造】の実践力を身に付け合格点を目指す				
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。				
使用教材	一級建築士テキスト				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	2	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	3	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	4	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	5	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	6	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	7	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	8	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	9	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	10	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	11	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	12	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	13	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	14	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	15	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築施工Ⅱ		指導担当者名	鈴木 杏奈	
実務経験	建築施工管理職として4年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級建築士専攻科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	60時間			週時間数	4時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築施工】の実践力を身に付け合格点を目指す				
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。				
使用教材	一級建築士テキスト				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	2	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	3	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	4	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	5	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	6	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	7	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	8	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	9	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	10	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	11	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	12	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	13	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	14	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	15	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築法規Ⅱ		指導担当者名	鈴木 杏奈	
実務経験	建築施工管理職として4年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	1級建築士専攻科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数	60時間			週時間数	4時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築法規】の実践力を身に付け合格点を目指す				
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。				
使用教材	一級建築士テキスト				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	2	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	3	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	4	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	5	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ		
	6	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	7	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	8	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	9	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	10	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ		
	11	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	12	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	13	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	14	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	15	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ		
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名	一級設計製図演習		指導担当者名	鈴木 杏奈	
実務経験	建築施工管理職として4年間従事			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	1級建築士専攻科2年	
授業方法	講義:	演習: ○	実習:	実技:	
時間数	240時間			週時間数	24時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【設計製図試験】に合格できる図面を仕上げる。				
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。				
使用教材	1級建築士試験 設計製図試験				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	設計製図	製図の描き方・課題文の読み方		
	2	設計製図	エスキース		
	3	設計製図	エスキース		
	4	設計製図	計画の要点		
	5	設計製図	作図		
	6	設計製図	作図		
	7	設計製図	模試試験		
	8	設計製図	模試試験		
	9	設計製図	模試試験		
	10	設計製図	模試試験		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名		卒業制作		指導担当者名	近内 広樹		
実務経験		建築施工管理職として4年間従事				実務経験:	有
開講時期		後期		対象学科学年		1級建築士専攻科2年	
授業方法		講義:	演習:		実習: ○		実技:
時間数		280時間				週時間数	28時間
学習到達目標		4年間の集大成として、それぞれが設定した課題の制作を行う					
評価方法 評価基準		半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。					
使用教材							
授業外学習 の方法							
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	課題設定		課題設定を行う			
	2	課題設定		課題設定を行う			
	3	課題研究		設定した課題について、研究を行う			
	4	課題研究		設定した課題について、研究を行う			
	5	課題研究		設定した課題について、研究を行う			
	6	作品制作		完成に向けて作品制作を行う			
	7	作品制作		完成に向けて作品制作を行う			
	8	作品制作		完成に向けて作品制作を行う			
	9	作品制作		完成に向けて作品制作を行う			
	10	作品制作		完成に向けて作品制作を行う			
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施							